

## V. 教員免許状の取得のしかた

### 1 主専攻の卒業要件と教員免許状の取得について

#### 1. 主専攻の卒業要件と教員免許状との関係

主専攻においては、その卒業要件を満たすことで、各コースにおける第1免許又は第2免許の教員免許状が取得できるようにカリキュラムを組んでいます。従って、主専攻における教員免許状の取得のしかたについて、本章のページにより特に調べる必要はありません。

#### 2. 中学校の教員免許状と高等学校の教員免許状との関係

各教科のうち、「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」、「家庭」及び「英語」については、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が共通していますので、これらの教科については、学生が卒業要件を満たすことによって、中学校教諭一種免許状と高等学校一種免許状を同時に取得することができます。

一方、「国語」及び「美術」は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が少し異なります。また、「地理歴史」、「公民」及び「工業」にあつては、高等学校に係る免許状であり、その取得方法は中学校の取得方法とは大きく異なっています。

これら教科の高等学校教諭免許状を卒業と同時に取得しようと考えている学生は、本章「教員免許状の取得のしかた」を熟読し、卒業要件と併せてこれらの免許状が取得できるようにしっかりと履修計画を立ててください。

### 2 副専攻における教員免許状の取得について

#### 1. 副専攻とは

所属するコース又は分野において主専攻として取得する教員免許状以外に、他の学校種又は他の教科の教員免許状を取得しようとするために履修するものを「副専攻」といいます。本章「教員免許状の取得のしかた」に従って各教員免許状の取得に必要な単位を修得し、卒業することにより、当該教員免許状が取得できます。

#### 2. 副専攻の選抜・登録

副専攻の履修には登録が必要です。副専攻の受入れについては各教室で人数に制限があるため、毎年4月初旬に副専攻試験による選抜や登録などの手続きを行います。教育学部Moodleにて情報を収集し、関係教室等の指示に従って所定の手続きを行ってください。

#### 3. 教員免許状取得のための開講科目と卒業要件との関係

本章において、教員免許状取得のために開講している科目の単位は、所属するコースの卒業要件において自由選択科目の単位に充てることができます。

次頁より、それぞれの学校種や教科の教員免許状取得に必要な単位数や授業科目の履修方法について説明します。教員免許法及び同法施行規則で定められた取り扱うべき内容と本学部が設定する授業科目の単位数との関係で、同法令が定める最低修得単位数より多く単位修得を要する教科等がありますが、これについては本章で示す履修指導に従ってください。

### 3 小学校教諭の教員免許状の取得のしかた

#### 1. 小学校教諭の教員免許状の取得のしかた

小学校教諭の教員免許状の取得に必要な単位数は、次のとおりです。

免許法施行規則に定める科目区分		必要単位数		備考
		小学校1種	小学校2種	
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	30	16	
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	8	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	11	9	
第5欄	教育実践に関する科目	7	7	
第6欄	大学が独自に設定する科目	2	2	
合 計		60	42	

(注) 欄区分の第2欄から第6欄は、教育職員免許法施行規則第3条に規定する区分を示します。

#### 2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修のしかた

教科及び教科の指導法に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数			左記に対応する開設授業科目及び必要単位数							備考	
			授業科目		単位数	履修年次	小学校1種		小学校2種		
							必修	選択必修	必修		選択必修
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	1種	2種	小学校国語(書写を含む)	2	1		2		2	4
				小学校社会	2	1		2		2	
				小学校算数	2	1		2		2	
				小学校理科	2	3		2		2	
				小学校音楽	1	1		1		1	
				小学校図画工作	1	2		1		1	
				小学校体育	1	2		1		1	
				小学校家庭	1	2		1		1	
				小学校英語	2	2		2		2	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	30	16	小学校国語科教育法	2	2	2			2	8
				小学校社会科教育法	2	2	2			2	
				小学校算数科教育法	2	2	2			2	
				小学校理科教育法	2	2	2			2	
				小学校生活科教育法	1	3	1			1	
				小学校音楽科教育法	2	2	2		2	2	
				小学校図画工作科教育法	2	3	2		2	2	
				小学校体育科教育法	2	3	2		2	2	
				小学校家庭科教育法	2	2	2			2	
				小学校英語科教育法	2	2	2			2	
合計						19	11		16		
						30		16			

## 3. 教育の基礎的理解に関する科目の履修のしかた

教育の基礎的理解に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数			左記に対応する開設授業科目及び必要単位数							備考
			授業科目	単位数	履修年次	小学校1種		小学校2種		
						必修	選択必修	必修	選択必修	
教育の基礎的理解に関する科目	10	6	教育基礎論	1	1	1		1		小基A
			教職概論	1	1	1		1		小基B
			教育制度と経営論	1	1	1		1		小基C
			発達と学習の心理学	2	1	2		2		小基D
			特別支援教育の理論と方法	2	1	2		2		小基E
			教育課程論	1	1	1		1		小基F
			児童発達心理学	2	2~4		2			小基D
			学習の心理学	2	2~4		2			小基D
			現代教育思想	1	1~4		1			小基A
			メディア社会と学校教育	1	2~4		1			小基C
			横断型授業づくり入門	1	1~4		1			小基F
			少年法制からみた教育	1	2~4		1	2		小基C
			教育政策学	1	2~4		1			小基C
			教育行財政	1	2~4		1			小基C
			実践から学ぶ教職論	2	1~4		2			小基B
			実践に活かす教職論	2	1~4		2			小基B
			学校の安全管理と安全教育	1	3・4		1			小基C
			地域教育経営論	1	1~4		1			小基C
地域社会と学校マネジメント	1	1~4		1			小基C			
学校と市民	1	1~4		1			小基A			
			合計				8	2	8	
							10		8	

※備考の記号は、その科目が教員免許法施行規則第3条に定める事項を含んでいることを示します。

小基A：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

小基B：教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

小基C：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

小基D：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

小基E：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

小基F：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

4. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の履修のしかた

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数		左記に対応する開設授業科目及び必要単位数								備考
		授 業 科 目		単位数	履修年次	小学校1種		小学校2種		
						必修	選択必修	必修	選択必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	6	道徳教育の理論と方法	2	3	2		2		小道A
			総合的な学習の時間の指導法	1	1	1		1		小道B
			特別活動の理論と実際	1	2	1		1		小道C
			教育方法・技術	1	2	1		1		小道D
			ICT活用教育の理論と方法	1	2~4	1		1		小道E
			生徒指導・教育相談の理論と実際	2	3	2		2		小道FG
			進路指導の理論と実際	1	3	1		1		小道H
			児童・生徒の不適應	1	2~4		1			小道G
			学校心理学の基礎	1	2~4		1			小道G
			生徒指導の社会心理学	2	2~4		2			小道F
			生徒指導とコミュニケーション	1	2~4		1			小道F
			教師の授業力育成	2	2~4		2			小道D
			児童生徒が探究的に学ぶ授業づくり	2	2~4		2			小道D
			いじめ・不登校と子どもの権利	1	2~4		1			小道F
			ジェンダーと教育課題	1	2~4		1			小道F
			児童虐待と非行	1	2~4		1			小道G
			学校から仕事へ	1	1~4		1			小道H
			生徒指導と教育相談	2	3・4		2			小道FG
			問題行動とその指導	2	3・4		2			小道FG
			臨床心理学概論	2	3・4		2			小道G
			心理発達支援論	1	3・4		1			小道G
			臨床教育実践	2	2~4		2			小道FG
			非行臨床概論	2	2~4		2			小道G
			ICT授業実践入門	2	2~4		2			小道D
			ディベート教育論	2	1~4		2			小道D
			教育方法学	1	2~4		1			小道D
			学力形成論	1	2~4		1			小道D
情報機器活用と教育方法	1	1~4		1			小道E			
小学校プログラミング教育の指導法	1	2~4		1			小道E			
ワークショップ教育論	1	1~4		1			小道D			
学習ファシリテーション論	1	1~4		1			小道D			
合計					9	2	9			
					11		9			

※備考の記号は、その科目が免許法施行規則第3条に定める事項を含んでいることを示します。

小道A：道徳の理論及び指導法

小道B：総合的な学習の時間の指導法

小道C：特別活動の指導法

小道D：教育の方法及び技術

小道E：情報通信技術を活用した教育の理論及び方法

小道F：生徒指導の理論及び方法

小道G：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

小道H：進路指導及びキャリア教育の理論及び方法

## 5. 教育実践に関する科目の履修のしかた

教育実践に関する科目については、次のとおり履修してください。

授 業 科 目	単位数	履修年次	小学校1種・2種		備 考
			必修	選択必修	
教 育 実 習（小 学 校）	4	3	4		
教育実習事前・事後指導（小学校）	1	2～4	1		
教 職 実 践 演 習	2	4	2		
合 計			7		
			7		

（注1）幼稚園教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（幼稚園）5単位をもって、小学校の教育実習及び事前・事後指導（小学校）5単位に代えることができます。

（注2）中学校教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（中学校）5単位をもって、小学校教諭免許状取得に際しては、3単位（事前・事後指導の1単位含む）まで充てることができます。この場合、教育実習（小学校）2単位を修得し充足することにより、教育実習及び事前・事後指導（小学校）5単位を修得したことになります。なお、残りの教育実習（中学校）2単位は、小学校教諭免許状の取得のためには一切充てることはできません。

## 6. 大学が独自に設定する科目の履修のしかた

大学が独自に設定する科目については、小学校コースの「学校及び教育の諸課題に関する科目」（32頁）の表のうち、備考に小学校の教員免許状に対応している科目から選択してください。

また、前掲「2. 教科及び教科の指導法に関する科目」、「3. 教育の基礎的理解に関する科目」及び「4. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の各区分における**必要単位数を超えて修得した余剰単位を充てることもできます。**